

補助事業者名 名称変更	事業項目名 (機器名称)	補助金 (千円)		補助対象経費総額 (千円)		補助率
		交付要望額	交付決定額(a)	要望時	交付決定時	
補助事業名	事業形態 _____ (_____)	最終予算額	決算額 (b)	執行率 (b/a)	()	

【社会的課題と補助事業の関係 流れ図】

1.社会的課題 (補助事業で改善・解決等を目指す社会的課題の現状と目指す姿を記入してください)

社会的課題 (最終目的)	現状	
	目指す姿	

補助事業の目的達成により、社会的課題の適切な対応、改善、解消、解決を図り、「目指す姿」を実現する。

2.補助事業の設計・評価 (社会的課題の改善・解決等に資する補助事業を設計し、事業終了後に自ら事業を評価してください)

(1) 補助事業で達成を目指す、目的の達成後の姿

補助事業の目的 (中間目的)	
-------------------	--

補助事業の成果・波及効果により、目的達成を図る。

※社会的課題と補助事業の関係 (なぜこの補助事業を計画し、実施する必要があるのか?)

1. 補助事業は、様々な「社会的課題」を見据え、その対応、改善、解消、解決を目指し、計画・設計し、実施するものです。
 (1) 補助事業の設計
 「社会的課題」の把握 ⇒ (改善・解決のための手法決定) ⇒ 達成「目的」の設定 ⇒ 「目的」達成のため「補助事業」を計画
 (2) 補助事業の実施
 「補助事業」の実施 ⇒ 「補助事業」の実施結果 ⇒ 「補助事業」の成果(改善効果) ⇒ 「目的」の達成 ⇒ 「社会的課題」の改善・解決等
 2. 左記に「社会的課題と補助事業の関係」を示す「流れ図」を掲げましたので、事前計画とともに内容を記入し、流れ図を完成してください。
 3. 補助事業の設計と実施にあたっては、この「流れ図」と自らの補助事業を対比し、計画は明確な「目的」、「成果」、「結果」、「内容」が設定され、「社会的課題」の改善・解決等に資するものであるか(流れを合理的に説明できるか)を、常に検証してください。
 4. また、補助事業実施の効果等を客観的に把握し今後の改善につなげるため、各評価項目の達成度を検証する「指標」(達成指標)と「目標値」を計画段階でこの「事前計画／自己評価書」で明示し、事業実施後に各評価項目の「指標」の達成度を検証し、事業を評価することが重要です。

■ 枠内は補助事業終了後に作成してください。 ■ 枠内は平成25年2月末までの状況を同年3月に作成してください。

(2) 補助事業の事前計画

(3) 補助事業の自己評価 (自己評価Ⅰ、自己評価Ⅱ)

評価項目	事前計画				自己評価					
	補助金	交付要望時	作成者 () [平成 年 月 日]	計画変更時(最終計画)	自己評価Ⅰ	自己評価Ⅱ	達成値	達成状況	採点	
	具体的な内容			具体的な内容			分析・解釈・価値判断			
A 事業内容	(機器導入) 地域のニーズ									
	具体的内容									
	実施計画									
	実施体制									
B 目標	事業の実施結果	指標	目標値	具体的な内容	指標	目標値	具体的な内容	達成値	達成状況	採点
	事業の成果・波及									

平成23年度 事前計画／自己評価書（公設工業試験研究所等の機器整備）



枠内は補助事業終了後に作成してください。



枠内は平成25年2月末までの状況を同年3月に作成してください。

(2) 補助事業の事前計画

(3) 補助事業の自己評価（自己評価Ⅰ、自己評価Ⅱ）

評価項目	事前計画						自己評価				
	補助金 交付要望時			計画変更時(最終計画)			自己評価Ⅰ		自己評価Ⅱ		採点
	指標	目標値	具体的な内容	指標	目標値	具体的な内容	達成値	達成状況	分析・解釈・価値判断		
C 広報	補助事業によりもたらされた成果の広報 【上段】事業終了時 【下段】平成25年2月末時点										
	JKAの競輪・オートレース補助金で実施された事業であることの広報 【上段】事業終了時 【下段】平成25年2月末時点										
D 自己評価の体制											

(4) 補助事業の総括Ⅰ（自己評価Ⅰ：補助事業終了時） 作成者（ ）[平成 年 月 日]

補助事業の終了にあたり、事業を振り返り、個々の評価項目の自己評価結果その他を勘案して、補助事業全体を総合的に自己評価してください。

①採点（補助事業全体の総合評価を行ってください）

総合評価

②総合所見（補助事業を振り返り、下記項目についてご記入ください）

今回の事業で、優れていると評価できる点		今回の事業の課題・改善すべきと思われる点	
事業全体の総括的感想		事業実施で得ることができた教訓（知識・知見）、その他、アピールしたい点等（あれば）	

(5) 補助事業の総括Ⅱ（自己評価Ⅱ：平成25年2月末までの状況） 作成者（ ）[平成 年 月 日]

平成25年2月末時点で振り返りを行い、下記の状況をご記入ください。

○事業の目的等の達成状況

事業の目的（中間目標）、社会的課題（最終目標）の達成状況（必須）	
----------------------------------	--

補助事業者名 名称変更	事業項目名 (機器名称)	補助金(千円) 交付要望額	補助対象経費総額(千円)		補助率
			要望時		
補助事業名	事業形態 ____ (_____)	交付決定額(a)	交付決定時		
		最終予算額	執行率 (b/a)		()
		決算額 (b)			

【社会的課題と補助事業の関係 流れ図】

1.社会的課題 (補助事業で改善・解決等を目指す社会的課題の現状と目指す姿を記入してください)

社会的課題 (最終目的)	現状	
	目指す姿	

補助事業の目的達成により、社会的課題の適切な対応、改善、解消、解決を図り、「目指す姿」を実現する。

2.補助事業の設計・評価 (社会的課題の改善・解決等に資する補助事業を設計し、事業終了後に自ら事業を評価してください)

(1) 補助事業で達成を目指す、目的の達成後の姿

補助事業の目的 (中間目的)	
-------------------	--

補助事業の成果・波及効果により、目的達成を図る。

(2) 補助事業の事前計画

評価項目	事前計画			
	補助金	交付要望時	作成者 () [平成 年 月 日]	計画変更時(最終計画) 作成者 () [平成 年 月 日]
A 事業内容	具体的な内容			
	(機器導入) 地域のニーズ			
	具体的内容			
	実施計画			
	実施体制			

(3) 補助事業の自己評価 (自己評価Ⅰ、自己評価Ⅱ)

評価項目	自己評価Ⅰ		自己評価Ⅱ		採点
	達成値	達成状況	達成値	達成状況	
B 目標					
事業の実施結果					
事業の成果・波及					

※社会的課題と補助事業の関係 (なぜこの補助事業を計画し、実施する必要があるのか?)

- 補助事業は、様々な「社会的課題」を見据え、その対応、改善、解消、解決を目指し、計画・設計し、実施するものです。
 - 補助事業の設計
「社会的課題」の把握 ⇒ (改善・解決のための手法決定) ⇒ 達成「目的」の設定 ⇒ 「目的」達成のため「補助事業」を計画
 - 補助事業の実施
「補助事業」の実施 ⇒ 「補助事業」の実施結果 ⇒ 「補助事業」の成果(改善効果) ⇒ 「目的」の達成 ⇒ 「社会的課題」の改善・解決等
- 左記に「社会的課題と補助事業の関係」を示す「流れ図」を掲げましたので、事前計画とともに内容を記入し、流れ図を完成してください。
- 補助事業の設計と実施にあたっては、この「流れ図」と自らの補助事業を対比し、計画は明確な「目的」、「成果」、「結果」、「内容」が設定され、「社会的課題」の改善・解決等に資するものであるか(流れを合理的に説明できるか)を、常に検証してください。
- また、補助事業実施の効果等を客観的に把握し今後の改善につなげるため、各評価項目の達成度を検証する「指標」(達成指標)と「目標値」を計画段階でこの「事前計画／自己評価書」で明示し、事業実施後に各評価項目の「指標」の達成度を検証し、事業を評価することが重要です。

■ 枠内は補助事業終了後に作成してください。 ■ 枠内は平成25年2月末までの状況を同年3月に作成してください。

平成23年度 事前計画／自己評価書（公設工業試験研究所等の機器整備）



枠内は補助事業終了後に作成してください。



枠内は平成25年2月末までの状況を同年3月に作成してください。

(2) 補助事業の事前計画

(3) 補助事業の自己評価（自己評価Ⅰ、自己評価Ⅱ）

評価項目	事前計画						自己評価				
	補助金 交付要望時			計画変更時(最終計画)			自己評価Ⅰ		自己評価Ⅱ		採点
	指標	目標値	具体的な内容	指標	目標値	具体的な内容	達成値	達成状況	分析・解釈・価値判断		
C 広報	補助事業によりもたらされた成果の広報 【上段】事業終了時 【下段】平成25年2月末時点										
	JKAの競輪・オートレース補助金で実施された事業であることの広報 【上段】事業終了時 【下段】平成25年2月末時点										
D 自己評価の体制											

(4) 補助事業の総括Ⅰ（自己評価Ⅰ：補助事業終了時） 作成者（ ）[平成 年 月 日]

補助事業の終了にあたり、事業を振り返り、個々の評価項目の自己評価結果その他を勘案して、補助事業全体を総合的に自己評価してください。

総合評価

①採点（補助事業全体の総合評価を行ってください）

②総合所見（補助事業を振り返り、下記項目についてご記入ください）

今回の事業で、優れていると評価できる点		今回の事業の課題・改善すべきと思われる点	
事業全体の総括的感想		事業実施で得ることができた教訓（知識・知見）、その他、アピールしたい点等（あれば）	

(5) 補助事業の総括Ⅱ（自己評価Ⅱ：平成25年2月末までの状況） 作成者（ ）[平成 年 月 日]

平成25年2月末時点で振り返りを行い、下記の状況をご記入ください。

○事業の目的等の達成状況

事業の目的(中間目標)、社会的課題(最終目標)の達成状況(必須)	
----------------------------------	--

補助事業者名 名称変更	事業項目名 (機器名称)	補助金 (千円)		補助対象経費総額 (千円)		補助率
		交付要望額	交付決定額(a)	要望時	交付決定時	
補助事業名	事業形態 _____ (_____)	最終予算額	決算額 (b)	執行率 (b/a)	()	

【社会的課題と補助事業の関係 流れ図】

1.社会的課題 (補助事業で改善・解決等を目指す社会的課題の現状と目指す姿を記入してください)

社会的課題 (最終目的)	現状	
	目指す姿	

補助事業の目的達成により、社会的課題の適切な対応、改善、解消、解決を図り、「目指す姿」を実現する。

2.補助事業の設計・評価 (社会的課題の改善・解決等に資する補助事業を設計し、事業終了後に自ら事業を評価してください)

(1) 補助事業で達成を目指す、目的の達成後の姿

補助事業の目的 (中間目的)	
-------------------	--

補助事業の成果・波及効果により、目的達成を図る。

※社会的課題と補助事業の関係 (なぜこの補助事業を計画し、実施する必要があるのか?)

1. 補助事業は、様々な「社会的課題」を見据え、その対応、改善、解消、解決を目指し、計画・設計し、実施するものです。
 (1) 補助事業の設計
 「社会的課題」の把握 ⇒ (改善・解決のための手法決定) ⇒ 達成「目的」の設定 ⇒ 「目的」達成のため「補助事業」を計画
 (2) 補助事業の実施
 「補助事業」の実施 ⇒ 「補助事業」の実施結果 ⇒ 「補助事業」の成果(改善効果) ⇒ 「目的」の達成 ⇒ 「社会的課題」の改善・解決等
 2. 左記に「社会的課題と補助事業の関係」を示す「流れ図」を掲げましたので、事前計画とともに内容を記入し、流れ図を完成してください。
 3. 補助事業の設計と実施にあたっては、この「流れ図」と自らの補助事業を対比し、計画は明確な「目的」、「成果」、「結果」、「内容」が設定され、「社会的課題」の改善・解決等に資するものであるか(流れを合理的に説明できるか)を、常に検証してください。
 4. また、補助事業実施の効果等を客観的に把握し今後の改善につなげるため、各評価項目の達成度を検証する「指標」(達成指標)と「目標値」を計画段階でこの「事前計画／自己評価書」で明示し、事業実施後に各評価項目の「指標」の達成度を検証し、事業を評価することが重要です。

■ 枠内は補助事業終了後に作成してください。 ■ 枠内は平成25年2月末までの状況を同年3月に作成してください。

(2) 補助事業の事前計画

(3) 補助事業の自己評価 (自己評価Ⅰ、自己評価Ⅱ)

評価項目	事前計画				自己評価						
	補助金	交付要望時	作成者 () [平成 年 月 日]	計画変更時(最終計画)	自己評価Ⅰ	自己評価Ⅱ	達成値	達成状況	分析・解釈・価値判断	採点	
A 事業内容	(機器導入) 地域のニーズ										
	具体的内容										
	実施計画										
実施体制											
B 目標	事業の実施結果	指標	目標値	具体的内容	指標	目標値	具体的内容	達成値	達成状況	分析・解釈・価値判断	採点
	事業の成果・波及										

平成23年度 事前計画／自己評価書（公設工業試験研究所等の機器整備）



枠内は補助事業終了後に作成してください。



枠内は平成25年2月末までの状況を同年3月に作成してください。

(2) 補助事業の事前計画

(3) 補助事業の自己評価（自己評価Ⅰ、自己評価Ⅱ）

評価項目	事前計画						自己評価				
	補助金 交付要望時			計画変更時(最終計画)			自己評価Ⅰ		自己評価Ⅱ		採点
	指標	目標値	具体的な内容	指標	目標値	具体的な内容	達成値	達成状況	分析・解釈・価値判断		
C 広報	補助事業によりもたらされた成果の広報										
	【上段】事業終了時 【下段】平成25年2月末時点										
D 自己評価の体制	JKAの競輪・オートレース補助金で実施された事業であることの広報										
	【上段】事業終了時 【下段】平成25年2月末時点										

(4) 補助事業の総括Ⅰ（自己評価Ⅰ：補助事業終了時）

作成者() [平成 年 月 日]

補助事業の終了にあたり、事業を振り返り、個々の評価項目の自己評価結果その他を勘案して、補助事業全体を総合的に自己評価してください。

総合評価

①採点（補助事業全体の総合評価を行ってください）

②総合所見（補助事業を振り返り、下記項目についてご記入ください）

今回の事業で、優れていると評価できる点		今回の事業の課題・改善すべきと思われる点	
事業全体の総括的感想		事業実施で得ることができた教訓（知識・知見）、その他、アピールしたい点等（あれば）	

(5) 補助事業の総括Ⅱ（自己評価Ⅱ：平成25年2月末までの状況）

作成者() [平成 年 月 日]

平成25年2月末時点で振り返りを行い、下記の状況をご記入ください。

○事業の目的等の達成状況

事業の目的（中間目標）、社会的課題（最終目標）の達成状況（必須）	
----------------------------------	--

補助事業者名 名称変更	事業項目名 (機器名称)	補助金 (千円)	補助対象経費総額 (千円)		補助率
			交付要望額	要望時	
補助事業名	事業形態 _____ (_____)	交付決定額(a)	交付決定時		()
		最終予算額	執行率 (b/a)		
		決算額 (b)			

【社会的課題と補助事業の関係 流れ図】

1. 社会的課題 (補助事業で改善・解決等を目指す社会的課題の現状と目指す姿を記入してください)

社会的課題 (最終目的)	現状	
	目指す姿	

補助事業の目的達成により、社会的課題の適切な対応、改善、解消、解決を図り、「目指す姿」を実現する。

2. 補助事業の設計・評価 (社会的課題の改善・解決等に資する補助事業を設計し、事業終了後に自ら事業を評価してください)

(1) 補助事業で達成を目指す、目的の達成後の姿

補助事業の目的 (中間目的)	
-------------------	--

補助事業の成果・波及効果により、目的達成を図る。

※社会的課題と補助事業の関係 (なぜこの補助事業を計画し、実施する必要があるのか?)

1. 補助事業は、様々な「社会的課題」を見据え、その対応、改善、解消、解決を目指し、計画・設計し、実施するものです。
 (1) 補助事業の設計
 「社会的課題」の把握 ⇒ (改善・解決のための手法決定) ⇒ 達成「目的」の設定 ⇒ 「目的」達成のため「補助事業」を計画
 (2) 補助事業の実施
 「補助事業」の実施 ⇒ 「補助事業」の実施結果 ⇒ 「補助事業」の成果(改善効果) ⇒ 「目的」の達成 ⇒ 「社会的課題」の改善・解決等
 2. 左記に「社会的課題と補助事業の関係」を示す「流れ図」を掲げましたので、事前計画とともに内容を記入し、流れ図を完成してください。
 3. 補助事業の設計と実施にあたっては、この「流れ図」と自らの補助事業を対比し、計画は明確な「目的」、「成果」、「結果」、「内容」が設定され、「社会的課題」の改善・解決等に資するものであるか(流れを合理的に説明できるか)を、常に検証してください。
 4. また、補助事業実施の効果等を客観的に把握し今後の改善につなげるため、各評価項目の達成度を検証する「指標」(達成指標)と「目標値」を計画段階でこの「事前計画／自己評価書」で明示し、事業実施後に各評価項目の「指標」の達成度を検証し、事業を評価することが重要です。

■ 枠内は補助事業終了後に作成してください。 ■ 枠内は平成25年2月末までの状況を同年3月に作成してください。

(2) 補助事業の事前計画

(3) 補助事業の自己評価 (自己評価Ⅰ、自己評価Ⅱ)

評価項目	事前計画				自己評価				
	補助金	交付要望時	作成者 () [平成 年 月 日]	計画変更時(最終計画)	自己評価Ⅰ	自己評価Ⅱ	達成値	達成状況	採点
A 事業内容	(機器導入) 地域のニーズ				分析・解釈・価値判断				採点
	具体的内容				分析・解釈・価値判断				
	実施計画				分析・解釈・価値判断				
B 目標	実施体制				分析・解釈・価値判断				採点
	指標	目標値	具体的内容		指標	目標値	具体的内容		
B 目標	事業の実施結果								
	事業の成果・波及								

平成23年度 事前計画／自己評価書（公設工業試験研究所等の機器整備）



枠内は補助事業終了後に作成してください。



枠内は平成25年2月末までの状況を同年3月に作成してください。

(2) 補助事業の事前計画

(3) 補助事業の自己評価（自己評価Ⅰ、自己評価Ⅱ）

評価項目	事前計画						自己評価				
	補助金 交付要望時			計画変更時(最終計画)			自己評価Ⅰ		自己評価Ⅱ		採点
	指標	目標値	具体的な内容	指標	目標値	具体的な内容	達成値	達成状況	分析・解釈・価値判断		
C 広報	補助事業によりもたらされた成果の広報 【上段】事業終了時 【下段】平成25年2月末時点										
	JKAの競輪・オートレース補助金で実施された事業であることの広報 【上段】事業終了時 【下段】平成25年2月末時点										
D 自己評価の体制	具体的な内容			具体的な内容			分析・解釈・価値判断				

(4) 補助事業の総括Ⅰ（自己評価Ⅰ：補助事業終了時）

作成者() [平成 年 月 日]

補助事業の終了にあたり、事業を振り返り、個々の評価項目の自己評価結果その他を勘案して、補助事業全体を総合的に自己評価してください。

①採点（補助事業全体の総合評価を行ってください）

総合評価

②総合所見（補助事業を振り返り、下記項目についてご記入ください）

今回の事業で、優れていると評価できる点		今回の事業の課題・改善すべきと思われる点	
事業全体の総括的感想		事業実施で得ることができた教訓（知識・知見）、その他、アピールしたい点等（あれば）	

(5) 補助事業の総括Ⅱ（自己評価Ⅱ：平成25年2月末までの状況）

作成者() [平成 年 月 日]

平成25年2月末時点で振り返りを行い、下記の状況をご記入ください。

○事業の目的等の達成状況

事業の目的（中間目標）、社会的課題（最終目標）の達成状況（必須）	
----------------------------------	--

補助事業者名 名称変更	事業項目名 (機器名称)	補助金 (千円)		補助対象経費総額 (千円)		補助率
		交付要望額	交付決定額(a)	要望時	交付決定時	
補助事業名	事業形態 _____ (_____)	最終予算額	決算額 (b)	執行率 (b/a)	()	

【社会的課題と補助事業の関係 流れ図】

1. 社会的課題 (補助事業で改善・解決等を目指す社会的課題の現状と目指す姿を記入してください)

社会的課題 (最終目的)	現状	
	目指す姿	

補助事業の目的達成により、社会的課題の適切な対応、改善、解消、解決を図り、「目指す姿」を実現する。

2. 補助事業の設計・評価 (社会的課題の改善・解決等に資する補助事業を設計し、事業終了後に自ら事業を評価してください)

(1) 補助事業で達成を目指す、目的の達成後の姿

補助事業の目的 (中間目的)	
-------------------	--

補助事業の成果・波及効果により、目的達成を図る。

※社会的課題と補助事業の関係 (なぜこの補助事業を計画し、実施する必要があるのか?)

1. 補助事業は、様々な「社会的課題」を見据え、その対応、改善、解消、解決を目指し、計画・設計し、実施するものです。
 (1) 補助事業の設計
 「社会的課題」の把握 ⇒ (改善・解決のための手法決定) ⇒ 達成「目的」の設定 ⇒ 「目的」達成のため「補助事業」を計画
 (2) 補助事業の実施
 「補助事業」の実施 ⇒ 「補助事業」の実施結果 ⇒ 「補助事業」の成果(改善効果) ⇒ 「目的」の達成 ⇒ 「社会的課題」の改善・解決等
 2. 左記に「社会的課題と補助事業の関係」を示す「流れ図」を掲げましたので、事前計画とともに内容を記入し、流れ図を完成してください。
 3. 補助事業の設計と実施にあたっては、この「流れ図」と自らの補助事業を対比し、計画は明確な「目的」、「成果」、「結果」、「内容」が設定され、「社会的課題」の改善・解決等に資するものであるか(流れを合理的に説明できるか)を、常に検証してください。
 4. また、補助事業実施の効果等を客観的に把握し今後の改善につなげるため、各評価項目の達成度を検証する「指標」(達成指標)と「目標値」を計画段階でこの「事前計画／自己評価書」で明示し、事業実施後に各評価項目の「指標」の達成度を検証し、事業を評価することが重要です。

■ 枠内は補助事業終了後に作成してください。 ■ 枠内は平成25年2月末までの状況を同年3月に作成してください。

(2) 補助事業の事前計画

(3) 補助事業の自己評価 (自己評価Ⅰ、自己評価Ⅱ)

評価項目	事前計画				自己評価				
	補助金	交付要望時	作成者 () [平成 年 月 日]	計画変更時(最終計画)	自己評価Ⅰ	自己評価Ⅱ	達成値	達成状況	採点
A 事業内容	(機器導入) 地域のニーズ				自己評価Ⅰ [平成 年 月 日] 自己評価Ⅱ [平成 年 月 日]				採点
	具体的内容				分析・解釈・価値判断				
	実施計画								
B 目標	実施体制								採点
	指標	目標値	具体的内容		指標	目標値	具体的内容		
B 目標	事業の実施結果								
	事業の成果・波及								

平成23年度 事前計画／自己評価書（公設工業試験研究所等の機器整備）



枠内は補助事業終了後に作成してください。



枠内は平成25年2月末までの状況を同年3月に作成してください。

(2) 補助事業の事前計画

(3) 補助事業の自己評価（自己評価Ⅰ、自己評価Ⅱ）

評価項目	事前計画						自己評価				
	補助金 交付要望時			計画変更時(最終計画)			自己評価Ⅰ		自己評価Ⅱ		採点
	指標	目標値	具体的な内容	指標	目標値	具体的な内容	達成値	達成状況	分析・解釈・価値判断		
C 広報	補助事業によりもたらされた成果の広報 【上段】事業終了時 【下段】平成25年2月末時点										
	JKAの競輪・オートレース補助金で実施された事業であることの広報 【上段】事業終了時 【下段】平成25年2月末時点										
D 自己評価の体制											

(4) 補助事業の総括Ⅰ（自己評価Ⅰ：補助事業終了時） 作成者（ ）[平成 年 月 日]

補助事業の終了にあたり、事業を振り返り、個々の評価項目の自己評価結果その他を勘案して、補助事業全体を総合的に自己評価してください。

総合評価

①採点（補助事業全体の総合評価を行ってください）

②総合所見（補助事業を振り返り、下記項目についてご記入ください）

今回の事業で、優れていると評価できる点		今回の事業の課題・改善すべきと思われる点	
事業全体の総括的感想		事業実施で得ることができた教訓（知識・知見）、その他、アピールしたい点等（あれば）	

(5) 補助事業の総括Ⅱ（自己評価Ⅱ：平成25年2月末までの状況） 作成者（ ）[平成 年 月 日]

平成25年2月末時点で振り返りを行い、下記の状況をご記入ください。

○事業の目的等の達成状況

事業の目的（中間目標）、社会的課題（最終目標）の達成状況（必須）	
----------------------------------	--